

地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況(平成30年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
出雲崎町	簡易水道事業	—	—

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営 体制を継続
事業廃止	民営化・ 民間譲渡	広域化等	民間活用				
			指定管理者 制度	包括的 民間委託	PPP/PFI方式 の活用	地方独立行政法 人への移行	
							○

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

<p>(現行の経営体制・手法を継続する理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ④知見やノウハウ不足により抜本的な改革の検討に至らないため ・ ⑤事業の規模が小さく、人員が少ない等の理由から抜本的な改革の検討に至らないため ・ 	<p>(左記で「⑦その他」となっている場合の詳細)</p> <div style="border: 1px solid black; height: 60px;"></div>
<p>(今後の経営改革の方向性等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人口減少に伴う料金収入の減、施設管路の老朽化が課題となる。効率的な財源確保及び長期的視点による更新作業に努める。 ・ 平成28年度から新潟県主導で水道事業の広域化に関する動きがあり、今後の方向性を注視する。 	